

補助事業番号 19-44

補助事業名 平成19年度国際プロジェクトマネジメント・シンポジウムの開催補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 日本プロジェクトマネジメント協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

本事業は、わが国プロフェッショナル プロジェクトマネジメント（以下PMと言う）ソサエティ創設10周年にあたり、PMの東西交流プラットフォームを提供すること、並びに日本プロジェクトマネジメント協会（以後当協会と称する）が普及を行っているわが国発信の知識体系「新版 P2M（プロジェクト&プログラムマネジメント標準ガイドブック）」を世界PM界に発信するとともに、わが国のPM力を世界に示すことを主旨とした「国際プロジェクトマネジメント・シンポジウム」を平成19年度に開催し、わが国のプロジェクトマネジメントの普及啓発に弾みをつけ、産業における経営革新と国際競争力の強化を図り、もって産業の振興に寄与することを目的としたものである。

(2) 実施内容

国際プロジェクトマネジメント・シンポジウムの開催

- ①大会名称：International Project & Program Management Symposium Tokyo 2008
（日本語：国際プロジェクト&プログラムマネジメント・シンポジウム 2008）
- ②開催日程：2008年3月10日（月）、11日（火）の2日間
- ③開催場所：タワーホール船堀（江戸川区総合区民ホール）
- ④規模：国内参加者（490名）、海外参加者（70名・20カ国） 合計560名

2. 予想される事業実施効果

国内外のPM有識者・実践者が一堂に会し、PMの最先端理論、および卓越した実践理論を展開する「国際シンポジウム」により、日本のPM界が新しい気付きをし、より強固かつ効果的な行動力に繋がることが予想できる。

さらに、日本発信の知識体系「P2M - プロジェクト&プログラムマネジメント標準ガイドブック」のグローバルPMスタンダード作成への寄与、並びに国内におけるP2Mの普及促進が加速されるものと期待できる。これにより、P2Mに基づく資格保持者を拡大し、その知識体系とスキルを事業経営において実践することにより、個々の企業・

団体において、新しい価値創造を行い、経営革新を促し、日本の構造改革および産業の振興に寄与できるものと期待される。

3. 本事業により作成した印刷物等

「平成 19 年度国際プロジェクトマネジメント・シンポジウムの開催補助事業報告書」
(CD-ROM 版)

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名 : 特定非営利活動法人日本プロジェクトマネジメント協会
(ニホンプロジェクトマネジメントキョウカイ)

住 所 : 郵便番号 105-0003
: 東京都港区西新橋一丁目 4 番 6 号

代表者 : 理事長 田中 弘 (タナカ ヒロシ)

担当部署 : 受託事業部 (ジュタクジギョウブ)

担当者名 : 古園 豊 (フルゾノ ユタカ)

電話番号 : 03-3539-3022

FAX : 03-3539-1741

E-mail : admi@pmaj.or.jp

URL : www.pmaj.or.jp